街を歩く 4 fourth step

相原、

町田市の最西端に位置し、八王子市、相模原市と隣接する相原地区は東西約7・5ｋｍ、南北は１ｋｍ以下の細長いエリア。西端には境川の源流があり、大戸緑地として保全されています。北側は多摩丘陵の壮大な自然に囲まれ、その一方で町田街道は『絹の道』として八王子と横浜を生糸商人が往来し発展してきました。史跡や文化財も多く、歴史が薫る町でもあります。

C 諏訪神社

相原地区の鎮守様。例祭に社前で奉納される丸山獅子舞は市の無形民俗文化財で三獅子舞の一つ。

F 町田あいす工房ラッテ

絞りたての生乳と天然素材で作る種類豊富なジェラードやシャーベットが人気。私の好きなお店大賞受賞店。

J 多摩送信所跡

太平洋戦争末期、本土空襲に備え国際電気通信株式会社（現KDDI）が作った送信所で、ポツダム宣言受諾放送を発信した。

K カトウファーム

自家製配合飼料と天然水で育った鶏の、生みたて卵を使ったプリンはまちだ名産品。直売所は水・金・土のみ営業。

M 大戸観音堂

晩鐘は八王子八景の景勝地と歌に詠まれたことでも有名。町田市最古の馬頭観音、六地蔵や市の保護樹木である銀杏がある。

L 八木重吉記念館

八木重吉の生家の土蔵に作られた記念館。自筆原稿や手紙、絵画ほか貴重な遺品が収蔵・展示されている。

A 清水寺（せいすいじ）

江戸時代末期創建の観音堂、水屋、鐘楼は市指定有形文化財で、観音堂周囲の花鳥、河川、人物透彫彫刻は必見。

I 圓林寺

正長元年開山、阿弥陀如来坐像と地蔵菩薩立像が市の指定有形文化財。大賀一郎博士が発見した古代蓮が伝わったことでも有名。

H 行昌寺

天文2年開山、本尊は釈迦如来。寛政6年再建時は茅葺屋根だったとされる。相原村の義人、諏訪家三代目加賀の位牌がある。

G 夕焼小焼の碑

童謡「夕焼小焼」の作詞者中村雨紅が発表当時、諏訪神社権禰宜の中村家養子だったことに由来し、２０１０年に設置された。

E うどん屋 開都

毎朝、仕込まれる種類豊富なうどんが築150年の古民家で頂ける。店名を冠した創作うどんの数々が人気。

D 長福寺

17世紀開山、19世紀前半に移転したとされる。本堂の格天井花丸絵画や山門、文殊堂の彫刻は見事で市の指定有形文化財。

B 中ヶ谷戸橋

横浜線相原陸道入口の積み方に似たレンガ造りの小さな橋。明治41年に開通の横浜線と同時期の建設と推測される。

Pick up 丸山獅子舞

元和3年、諏訪神社再興を図った際、村民が五穀豊穣を祈って奉納したのが起源。8月第3日曜日（2016年は8月21日）の例大祭に獅子舞を執り行い、中相原囃子連と下相原連合囃子連（陽田囃子）によるお囃子の奉納が喧嘩囃子として賑やかに競い合われる。

Pick up 八木重吉

明治31年、相原生まれの詩人。短く、ストレートに心に響く美しい詩は家族やふるさと、信仰していたキリストへの想いを詠んだものが多く、草野心平や高村光太郎らに大きな影響を与えた。肺結核を患い、29歳で夭逝。2016年10月22日～12月25日に町田市民文学館ことばらんどで企画展を開催。記念館は2016年8月～2017年3月まで休館。